



福岡市東区

立川 由美

小倉南区

高瀬 菜穂子

KENGIKAI NEWS

高瀬県議

PCR検査の拡充 臨時医療施設の設置 子どもへのマスク配布など
緊急のコロナ対策求める

福岡県では自宅待機者がピーク時に9,000人を超えたことから、臨時の医療施設の設置を要望しました。無料でPCR検査を行う広島県の事例を紹介し、「感染者が減少傾向のいまこそ、PCR検査の大幅拡充に踏み出すべき」と指摘しました。

知事は、臨時の大規模医療施設設置については「検討する必要がある」と答えましたが、PCR検査の抜本拡充については「考えていない」と述べました。

子どもたちのために、緊急に就学援助の項目に「不織布マスク」を加えるよう市町村に呼びかけ、県が補助する制度をつくってはどうかと提案しました。教育長は「市町村の判断」「国に就学援助の拡充を求める」などと冷たい答弁を行いました。

立川県議

核兵器禁止条約へ参加を

広島、長崎について3番目に被爆者が多い福岡県として、条約への署名と批准を国に強く求めるよう質問しました。あわせて、来年3月にウィーンで行われる締約国会議へのオブザーバー参加を、国に求めるよう質しました。知事は「外交政策は国の専管事項」と述べるにとどまりました。

立川県議

ヘイトスピーチ規制条例の制定を求める

2016年に「ヘイトスピーチ解消法」が施行されました。同法は罰則のない理念法であるため、全国の自治体で条例を制定し、団体や個人名を公表するなど、歯止めをかける動きが始まっています。「アジアの玄関口」を標榜する福岡県として条例をつくるよう要望しました。知事は、法にもとづき啓発にとりくむとし、規制条例の制定は「考えていない」と述べました。

論戦・要望で実現しました

- 保健所職員の増員
- 「避密の旅」キャンペーンで購入したチケットが払い戻し可能に
- 生活福祉資金の申請期間が11月末まで延長
- 県の月次支援金が10月分まで延長

いのち、暮らし、営業守れ

9月議会一般質問



コロナ禍と8月豪雨災害

心が折れない支援を

コロナ禍のなか、8月は記録的な大雨による被害が発生しました。県議団は、国会議員や地方議員と連携して被災地を調査し、要望を聞き取りました。

たび重なる浸水被害を受けた久留米市では、「新築の家を買って5年連続で被災した」「冠水した道路を通る車が水をかき分け、水圧でシャッターが壊れた」「対策をとってほしい」との声が寄せられました。

オンラインで政府交渉

県主体の補助金制度を9月議会で提案

9月29日、日本共産党福岡県委員会と県議団、久留米市議団、国会議員とともに、オンラインで災害対策の強化や被災者支援を求め

て政府交渉、▽連続する浸水による家屋の劣化を助成した被害認定▽被災者生活再建支援法などの拡充▽宅地かさ上げへの支援▽農業者への総合支援交付金の創設—など、7項目を求めました。

担当者らは既存の制度による対応を強調するとともに、災害復旧の一部を補助する「自治体連携型補助金」の制度が継続していることを説明しました。

9月議会の決算特別委員会で高瀬委員は、県が主体となって創設する「自治体連携型補助金」の活用で被災業者のみならず、さまざまな支援を行うよう強く求めました。しかし、県は「国に対して支援を要望している」として、県独自の制度創設については前向きな回答をしませんでした。

請願・意見書

- 「75歳以上の医療費窓口負担2倍化に関する請願」(共産党紹介) 継続審査
- 「消費税を5%に引き下げ、複数税率・インボイス制度の即時廃止を求める請願」(共産党紹介) 継続審査
- 「コロナを終息させ、安心して暮らせるための支援策を求める請願」(共産党紹介) 継続審査
- 「適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入中止・凍結を求める意見書案」(共産単独提案、その他全員反対) 不採択

日本共産党福岡県議会議員団 TEL 092(643)3809

福岡市博多区東公園7-7 議会棟3階 TEL 092(641)5160



http://www.jcp-fkengidan.jp